

## 放射線画像検査についてご案内

当院では CT や MRI に加えて PET-CT などの核医学検査についても共同利用できるように整備しています。

### CT 検査・MRI 検査について

当院では CT 4 台（128 列 Dual Energy CT：1 台、64 列 CT：2 台、救命専用 64 列 CT：1 台）、MRI 4 台（1.5T MRI：3 台、3.0T MRI：1 台）が稼働しています。依頼いただいた検査部位に対し、適切な撮影を行い、画像と放射線診断専門医によるレポート作成を行っています。

### 核医学検査について

核医学検査は、CT や MRI ではわからない体内の状態や臓器の動きを正確にとらえる機能画像診断です。検査目的の臓器または病巣に特異的に集まる放射性医薬品という薬を注射または内服し、その体内の動きをカメラで撮影し、分子レベルの画像診断を行います。当院では悪性腫瘍に対する FDG-PET/CT をはじめ、骨腫瘍に対する骨シンチ、パーキンソン症候群に対するダットスキャンなど、保険診療で可能な検査の全てに対応しています（各検査の対象疾患はホームペ

ージの PET-CT 検査連絡票またはシンチ画像検査依頼表を参照してください)。

核医学検査で投与する放射線医薬品による被曝量は CT と同程度かそれよりも低く設定しています。また核医学検査の副作用は、2017 年度発生率は 0.0012%\*とごくわずかです。また、副作用の内容も発疹、皮膚発赤、気分不良などの非重篤なもので、非常に安全な検査です (\*核医学 56 巻 1 号 2019 年)。依頼いただいた検査に対し、適切に撮影し、画像と核医学専門医のレポートを作成しています。

先生の日常診療に画像診断を役立ててくださいますよう、放射線診断部はじめスタッフ一同、取り組んでいます。不明点があれば遠慮なく地域連携までご相談ください。



令和 5 年 1 月

関西医科大学附属病院